

数学

神戸大学 [文系] (前期)

<全体分析>

試験時間 80 分 解答問題数 3 題

解答形式
記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

微分法・積分法からの出題がなかった。

その他トピックス

特になし。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	2次方程式	数学 I 数学 II	2次方程式の解の配置。解の実部の条件。領域の図示。	標準
2	確率	数学 A	硬貨をやりとりするゲームに関する確率。	標準
3	図形と方程式 整数の性質	数学 II 数学 A	2円が交わる条件。2円の交点を通る直線。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

例年は数学 I A I B の各分野からまんべんなく出題されているため、各分野をバランスよく学習すること。さらに過去問の研究を通して融合問題まで手を広げておきたい。
また、証明問題もよく出題されるから、しっかりと対策をする必要がある。